



日本共産党掛川市議会議員
勝川志保子・掛川市塩町 3-7

☎22-1325・FAX22-3883・Eメール sihoko@mbr.nifty.com

しほこ通信

No. 271

2023.4.17

勝川しほこ 検索

貧弱すぎる岸田政権「異次元」の少子化対策

その上 財源も実施時期も不明です

高等教育学費の値下げ明言なし

私大教職員組合アンケートのまとめでは、首都圏の大学に通う場合、自宅外通学をするとう入学時の保護者負担はなんと226万円。そのうち初年度の大学への納入が136万円。大学教育を受けさせることは大変で、学びたくとも経済的にあきらめるか、卒業と同時に多額の借金を背負い込む貸与型奨学金を借り、勉強時間を削るアルバイトで何とか暮らしを立てる。高すぎる学費の引き下げこそ大切です。



学校給食無償化

↓課題整理をするとしかなわない

子どもの医療費無償化は不適切な治療の増加につながると背を向ける国。自治体として実施を決めた掛川市なども新たな財政負担が市はこれを給食費値上げの言い訳にしています。

給食費の無償化は

具体的には何も打ち出してはいません。



2歳児までの高額な

保育料はそのままに



「せめて多子家庭の保育料免除をしてほしい」という声を子育て中のお母さんからいただきました。掛川市は小学校に入学した子どもはカウントしないため保育料免除の枠から外れてしまします。1才過ぎて職場復帰をしないと経済的に大変なのに、3、4人育てていても高い保育料を求められます。子どもの年齢差での区別は止めて、3才未満児へ無償化を広げることが急務です。

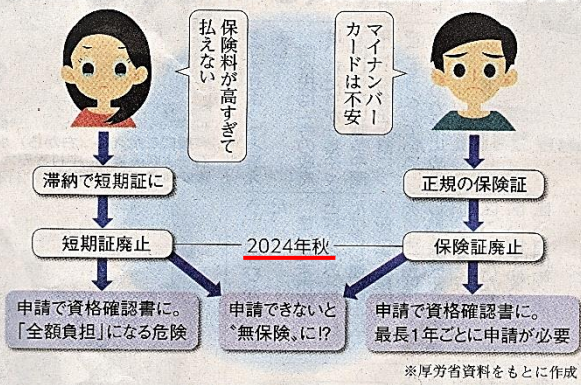
財源を社会保障制度の改悪ではダメ

社会保障料は収入が低い程に高い負担率(収入・1億円1.6%・1千万円10.8%・250万円16.2%)です。昨年の一〇月からは後期高齢者医療保険も一定の所得のある方の窓口負担は2倍に。高齢者の姿は将来の自分の姿。子ども一人200万円か、老後資金2000万円かを選択させられる。将来への不安が少子化を加速させています。

保険証廃止はおかしい

納税相談をすることで滞納があっても発行されていた短期保険証。なくなれば滞納者がいきなり窓口負担10割になる事態も。取得しない事への嫌がらせであり、任意のはずのカードの押しつけです。保険証の廃止は非現実的でやめるべきです。

保険証廃止でマイナンバーカード未取得の国保加入者はどうなる？



ねずみ山のたんぽぽ
は在来種です

補聴器の勉強会に参加

認定補聴器技能者の方からお話を聞く学習会に参加しました。



(補聴器の公的補助を求める掛川の会主催)

私も要約筆記の皆さんが用意したヒアリンググループを補聴器つけて試しました。よく聞こえて頭が疲れない...

自分も少し聞こえづらくなっているのかなと認識しました。

住宅リフォーム工事助成

の申請がはじまります

制度は改善どころか、工事期間が一〇月末までに短縮されてより使いにくくなりました。

申請は5/17(水)〜23(火)

21(日)を除く6日間のみ

(商工会議所・みなみ商工会で受付)

昨年也希望が多く、工事費用の10%・最大10万円が調整され6.8万円に減額されたのに今年度も予算は全く増えませんでした。中小企業支援策で経済波及効果が大きい事業なのに残念です。今年リフォーム予定の方は事業者までご相談を。



詳細は
こちら